

『 ローテーブルの製作 』

1. はじめに

これまで建築科で学んだ知識や技術を活かし、日常的に使用できるものを作りたいと考えたのが課題研究の始まりです。ヘリボーン張りという特殊な技法を用いてローテーブルの製作に挑戦しました。本研究ではローテーブルの製作を通して木材加工に関する知識や技術を深めることを目的とします。

2. 研究内容

ヘリボーン張りとは、V字形や長方形を縦横に連続して組み合わせる張り方で、床のフローリングで使用されており、洗練されたオシャレな雰囲気が特徴となっています。(図1) この技法を家具に使用することでデザイン性に優れるローテーブルを目指しました。まず、j w-c a dを使用して設計を行い(図2)、模型を作って全体的なイメージを掴みました。(図3) 製作の中で最も苦労したのは、天板部分の加工(図4)と張り付けです。(図5) 天板には胴縁という部材を使用し、木工ボンドを用いて接着します。端にできてしまう隙間の形状に合せ、一つ一つ部材を加工するのに多くの時間を要しました。(図6)



図1 ヘリボーン張り

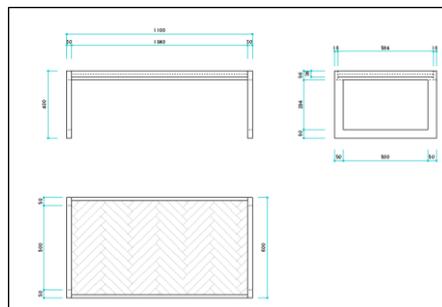


図2 CADで設計



図3 1/10サイズの模型



図4 胴縁の加工



図5 胴縁の張りつけ



図6 ローテーブルの完成

3. おわりに

課題研究を通して、納得のいく作品を製作することができました。製作をする中で多くの苦労がありましたが、自分たちで意見を出し合いながらその都度、問題を解決し、無事に完成することができたので大きな達成感を味わうことができました。また、高校生活の楽しい思い出の一つになりました。

反省点としては、引き出しなどを作ってもう少し家具の機能性を高めたかったですが、時間が足りなかったので作ることができなかったということです。計画段階からもう少し具体的に進めることが必要だったと感じています。課題研究を通して木材加工に関する知識と技術を深めることができたと思います。